

科目名	介護福祉研究 [院]					単位	2.0
担当教員	室田 人志						
授業形態	講義	開講期間	後期	配当年次	1	授業番号	8009

●授業のテーマ

介護福祉にかかわる政策とケアのあり方を考究する。

特に、地域包括ケアの仕組みや方法論を理解し、地域包括支援センター等における支援のあり方を学ぶ。

●到達目標

1. 戦後の介護福祉政策の変遷と狙いを理解することができる。
2. 介護福祉理念を学ぶことができる。
3. 介護福祉にかかわる支援のあり方を理解することができる。

特に、地域包括ケアの仕組みや方法論を理解し、地域包括支援センター等における支援ができる。

●学習内容(授業概要)

戦後の日本における介護福祉政策の変遷を、介護現場での実践との関連で理解することをおして、介護福祉にかかわる理念を先行研究も含めて学ぶ。

その上で、介護福祉実践事例(本授業では主にケアマネジメント事例)を取り上げて、支援の在り方を学ぶ。

特に、地域包括ケアの仕組みや方法論を十分理解し、地域包括支援センター等における支援、関連する地域関係者・関係機関との連携、ネットワークづくりができる能力を習得する。

●学習内容(授業計画)

1. オリエンテーション～介護福祉研究で何を学ぶか
2. 戦後の介護福祉政策を理解する①  
～政策資料・文献等から調べる
3. 戦後の介護福祉政策を理解する②  
～政策の変遷を体系的に理解する
4. 最近の介護福祉政策を理解する  
～政策内容とその狙い等を理解する
5. 戦後の介護福祉実践の動向を理解する
6. 介護福祉実践の今日的動向を理解する
7. 先行研究等から介護福祉の理念を学ぶ
8. 介護福祉実践から介護福祉の理念を学ぶ
9. 地域包括ケアの仕組みを理解する①
10. 地域包括ケアの仕組みを理解する②
11. 地域包括ケアの方法論を理解する
12. 生活を支える介護福祉のあり方を考える
13. 介護福祉事例研究①  
～地域包括支援センターの事例から
14. 介護福祉事例研究②  
～地域関係者・関係機関の連携、ネットワークの実際を学ぶ
15. まとめ

### ●準備学習・事後学習の内容

事前学習：介護福祉にかかわる政策資料や先行研究の文献等を収集して講義の際に用意すること。

事後学習：毎回課題を提示するので、レポート等にまとめること。

### ●成績評価方法・基準

①授業時のミニレポートおよび期末試験(レポート等)により、地域包括ケアの仕組みや方法論、地域包括支援センター等における支援内容の理解、地域における支援の方法を具体的に説明できることによって評価する。

②習得度は、授業時におけるミニレポート(40%)、学期末レポート(60%)により総合的に評価し、60点以上を合格とする。

### ●テキスト(必携)

長寿社会開発センター「地域包括支援センター運営マニュアル2012」(平成24年3月)をwebからダウンロードして用意すること。

### ●参考文献／その他

太田貞司編著「大都市の地域包括ケアシステム」光生館

太田貞司編集「医療制度改革と地域ケア」光生館

太田貞司編著「生活文化を支える介護」一橋出版 1997

太田貞司「地域ケアシステム」有斐閣 2003

加藤仁「介護の質に挑む人びと」中央法規 2007

黒澤貞夫「ヒューマンサービス実践への道」川島書店 1995

黒澤貞夫「生活支援の理論と実践」中央法規 2001

介護福祉学研究会監修「介護福祉学」中央法規 2002

### ●履修上の注意

履修する院生は、資料作成から発表、討議とポジティブに取り組んでもらうことになる。